土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一級河川　高梁川水系　学恩寺川　測量設計地質調査業務委託（通常砂防・交付金）

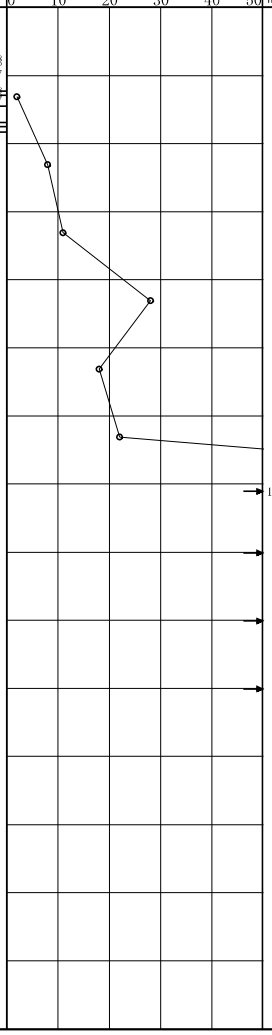
事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.4	**調査位置**	広島県庄原市東城町川西　地内			**北緯**	34° 54′ 6.4672″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2021年 12月 2日 ～ 2021年 12月 8日	**東経**	133° 15′ 59.5272″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 339.09m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270 西 90 東 180 南	**地盤勾配**	水平 0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	10.00m					**使用機種**	**試錐機** 東邦地下工機　D1-B48
							エンジン ヤンマー　NFD-12　**ポンプ** 東邦地下工機　BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	336.64	2.45		礫混じり砂質粘土		褐		rc2	新生代第四紀完新世	田畑のあぜ(盛土)および耕土とみられる粘性土である。0.4mまでは礫分が少なく粘土分が多い。植物根を豊富に含む。以深，φ20～60mmの硬質な礫分を含む。全体に軟らかく，試料は軽い指圧で大きくへこむ。2mの貫入試験はφ10～20mmの礫分を含み，最終打撃区間で礫打ちしているものと考えられる。同試料の含水はやや高い。	12.08 出現
	335.59	3.50		礫混じり砂		暗灰	rd3			2.6mまでは川砂様の粗中砂からなる。以深，細中砂を豊富に含んだ細粒分混じりの砂からなる。礫分の最大径は30mmほどである。	
	335.44	3.65		粘土質砂		暗褐				有機質粘土と細砂が等量に混じる。本層までは間違いなく堆積層である。	
	333.64	5.45		礫混じり砂		暗青灰	rd3			細礫質の砂質土である。岩組織は認めず，細粒分を不規則に含むため，堆積層であると判断した。礫分の最大径は60mmに達するが，大径のものは多くない。4mの貫入試験は礫打ちが明らかである。	
	332.24	6.85		砂礫		暗青灰	rd3			礫量，礫径とも急増する。岩組織は認めないが，基盤岩強風化土の可能性を完全否定しない。礫分は最大60mm。10～40mm径のものが多く，硬質である。マトリクスは粘土混じりの中砂からなる。	12.6
	331.39	7.70		風化砂岩		暗灰			新生代第三紀中新世	岩組織はかなり明瞭。細粒砂岩～シルト岩からなる。円盤状～短柱状コアをなし，岩片は風化により少し軟化している。【CL級，軟岩Ⅰに相当する】	
	330.39	8.70		礫岩		灰				良く固結した礫岩であり，風化は伴わない。柱状コアを呈し，マトリクスの優勢部で分離しやすい。【CL級，軟岩Ⅰに相当する】	12.7
	329.24	9.85		砂岩		灰				粗粒の砂岩であり，所々で礫分を含有している。コアは15～45cmの柱状を呈す。非常に良く固結しているが，岩片硬質というほどではない。【CL級，軟岩Ⅰに相当する】	
	329.09	10.00		礫岩		灰				再び礫岩に戻る。非常に良く固結しており，上位の砂岩・礫岩より明らかに硬い。【CL級，軟岩Ⅰに相当する】	12.8

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
2	1.15	1	1		2 / 300		
	1.45						
8	2.15	1	1	6	8 / 300		
	2.45						
11	3.15	4	4	3	11 / 300		
	3.45						
28	4.15	10	8	10	28 / 300		
	4.45						
18	5.15	6	3	9	18 / 300		
	5.45						
22	6.15	8	6	8	22 / 300		
	6.45						
150	7.05	50			50 / 100	100	
	7.15						
	8.00	貫入不能			50 / 0		
	8.00						
	9.00	貫入不能			50 / 0		
	9.00						
	10.00	貫入不能			50 / 0		
	10.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					12.6
					12.7
					12.8